

夏の星空

【児童センター夏の星空8月号】

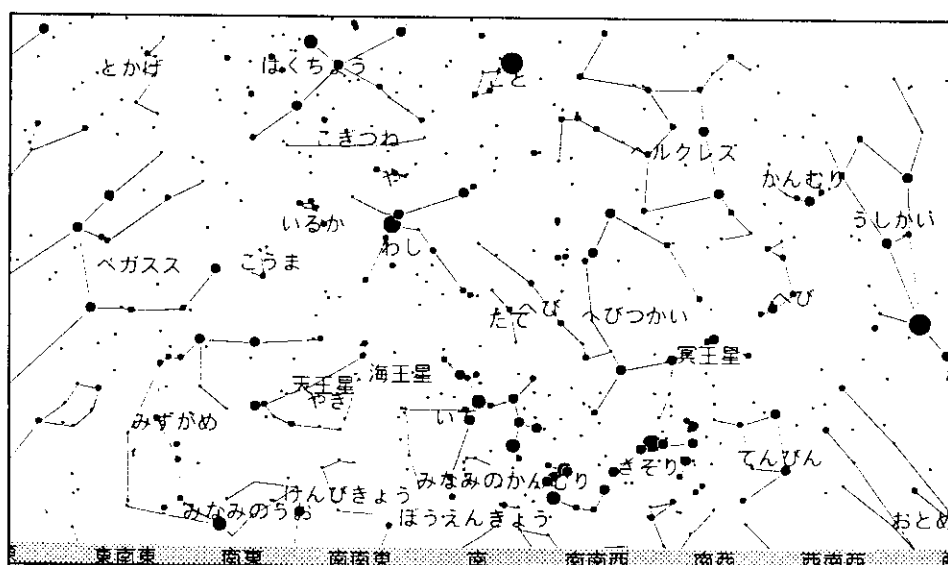
8月の南の空では、さそり座やいて座付近の天の川がひととき明るく見えます。

夏休みに、キャンプなど暗い夜空に出かけた時、天頂まで伸びる天の川をたどってみましょう。頭上近くに、はくちょう座・こと座・わし座のそれぞれ1等星をむすんで出来る三角形を「夏の大三角」といいます。8月は「夏の大三角」がちょうど見頃になり、深夜まで夜空を見ていると、東の空から秋の星座が登ってきます。

<8月の星空カレンダー>

- 7日(月) ①上弦
- 12日(土) ペルセウス座流星
- 15日(火) ②満月
- 23日(水) ③下弦
- 29日(火) ④新月

右の星図は、8月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆8月12～13日に“ペルセウス座流星群”が極大になります。

8月12日(土)の深夜から13日(日)未明にかけて北東に位置するペルセウス座より流れ星が出現します。今年は、15日(火)が満月になるので夜空全体が明るくなってしまい、昨年より条件がよくありませんが、流れ星の中には明るく輝くのも多くあるので「流れ星」の天文ショーをお楽しみ下さい。

☆“リニア彗星”夕方の西の低空にホウキ星が見えます。先月号で紹介したリニア彗星は8月上旬までが観測のチャンスです。

